TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソの信徒への手紙―恵みのスペクトル(連続体)焦点
エフェソの信徒への手紙1:1－6

2025年3月22日 & 23日
ジェシー・マーク・セザリオ 牧師

ご挨拶
礼拝を共にしている皆さん、TBCウエストトウキョウ、TBC三郷、スバおよびトンガバプテスト教会の皆さん、こんにちは。父なる神と主イエス・キリストの恵みと平和が皆さんにありますように！
祈りましょう。
エフェソの信徒への手紙1:1－6 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロから、エフェソにいるキリスト・イエスを信じる聖なる者たちへ。*2* 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。*3* 私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、*4* 天地創造の前に、キリストにあって私たちをお選びになりました。私たちが愛の内に御前で聖なる、傷のない者となるためです。*5* 御心の良しとされるままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、前もってお定めになったのです。*6* それは、神がその愛する御子によって与えてくださった恵みの栄光を、私たちがほめたたえるためです。

今日から、エフェソの信徒への手紙より、「恵みのスペクトル(連続体)」と題した新しいメッセージシリーズを始めます。
このシリーズのタイトルは、パウロがこの手紙の中で祈った2つの祈りに由来します。エフェソの信徒への手紙1:15－23と3:14－21のパウロの祈りを土台として、タイトルには光(スペクトル)と愛(恵み)が内包されています。
パウロは1:15－23にある最初の祈りでこのように祈りました：*17* 私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、あなたがたに知恵と啓示の霊を与えてくださいますように。そして、あなたがたが神を深く知ることができ、*18*心の目が照らされ・・・これが光りです。
パウロの２つめの祈りは3:14－21にあります：*17*あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって、これが愛です。
私たちのための私の祈りはこうです：私たちが神の恵みのスペクトル(連続体)を見て理解すること－そして今度は私たちが他者を神の恵みの力によって愛していくことができますように。
愛と恵みの関連性をパウロの祈りの中で捉えることができましたか？
今日のメッセージで、適用について触れるにはまだ早いかもしれませんが、イエス・キリストに従う者としてこれを理解する必要があるので、触れたいと思います。
イエスの霊があなたの内に宿り、働いてほしいですか？
そのためにはこうします：律法主義者であることを止め、人を裁くことを止め、キリストがあなたに与えたのと同じ恵みにより、人々を愛し始めてください。こうすることで、キリストの力があなたの内に働きます。
ですから私の祈りは、私たちが神の恵みのスペクトル(連続体)を見て理解することです－そして今度は私たちが周りの人たちを神の恵みの力によって愛していくことができますように。

手紙と歴史
パウロはこの手紙をエフェソの教会に宛てて書きました。エフェソはローマ帝国の支配下にあり、人口 20 万人以上の大きな都市でした。商業の主要な港市であったため、どちらかというと裕福でした。娯楽のための巨大な劇場もありました。
また、エフェソは古代の世界の七不思議の一つ、彼らの崇拝の対象であった巨大なアルテミスの女神像があることでも有名でした。人々はこの女神が健康、子孫繁栄、豊猟をもたらすと信じていました。この女神を宥めるための宗教的儀式として、様々な性的な慣習が生まれたとされ、神が意図した結婚のあり方に背くこととなりました。
パウロは、エフェソにおけるこれらの問題について語ります。性的な罪を反証し、神を真に礼拝する方法を教えます。どのように？敬虔な生き方、信仰深い家族、そしてこれらを維持するための力をもってです。
ここでもう一度、順序に着目してください。コロサイに宛てた手紙の中でもそうしたように、まずパウロは何から始めていますか？
真の礼拝です。真の礼拝は、敬虔な生き方、信仰深い家族、そしてこれら全てを維持する力のために必要不可欠です。その逆は成り立たないのです。
コロサイの信徒への手紙では、パウロは偽りの教えに対処し、キリストの主権を強調しました。
ガラテヤ信徒への手紙では、パウロはキリストにある恵みを通して信仰のみによる義認を守っています。
エフェソの信徒への手紙は、当時の文化の中では異邦人に向けて書かれた手紙で、キリストにある真の神の礼拝について書かれています。
アルテミス崇拝によって支配された場所において、この手紙はイエス・キリストにある神の愛を再び力強く照らし出すものであったことでしょう。

空白
この手紙の初期の写本には、宛先が書かれていません。エフェソとは書かれておらず、空白となっていました。受け取った人が宛先を埋め、手紙がその特定の人に向けられたものとされたようです。
このようなかんじです。
なぜこれはそんなに重要なのでしょうか。
この手紙は、エフェソの人々にだけ向けられたものではなく、今日、東京の TBC にいる私たちに向けて書かれたものでもあるのです。当時も適用されるべきものでしたが、今日の私たちにとっても適用されるべきものです。
始めに、この手紙が教える全体的なテーマと手紙が書かれた目的を見ていくことにしましょう。
今日は、エフェソの信徒への手紙 1 章の冒頭、1～6節に注目します。今日のメッセージタイトルでもある、エフェソの信徒への手紙の「焦点」を見ることができます。
焦点とは、全ての光線が一点に集まるところです。拡大鏡を使って太陽光を明るく、白い一点(ホットスポット)に集中的に集めるように。
エフェソの信徒への手紙の焦点は 6 節にあります。神がその愛する御子によって与えてくださった恵みの栄光です。
それがどのように展開していくのか、見ていきましょう。
1－2 節
1節　神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロから、
パウロは自分が使徒であり、神の御心による使徒であることを知ってほしいのです。単に自分の意志によってではなく。
これがどうして重要なのでしょうか。
パウロが当時異邦人の教会の教師であったように、彼は現代の私たちの教師でもあるのです。使徒であることは、彼が書いた書物を聖書の一部とする権利を与えます。
そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒言行録2:42
パウロがイエスに出会っていなければ、パウロは使徒になることはなかったですよね。
私たちは彼がサウロ、クリスチャンを迫害していた者としてしか知らなかったでしょう。彼は悪名高く、神の栄光の一部とはみなされなかったことでしょう。
これはどんなクリスチャンにとっても、とても良い振り返りです。
福音を通してイエスに出会わなければ、あなたは今頃どこにいたでしょうか。

あなたが何故ここにいるのか覚えていますか？あなたは今日ここにいたでしょうか。
パウロのように、イエスとの出会いがなければ、あなたは今日ここにいることはなかったですよね。イエスだけが、今日あなたがここにいるたった一つの理由です。神が、パウロにもそうであったように、あなたに対しても情熱と御心を持っておられたからです。
あなたもパウロ同様、イエスを見ました。イエスを信じました。そして今イエスにあって聖なるものとされています。
エフェソの人々も同じです。
ですからパウロはこう言います‥
1節　エフェソにいるキリスト・イエスを信じる聖なる者たちへ。
「聖なる者」という用語は、とても聖い特別な人々の集まりを指すのではありません。
むしろ、新約聖書では、イエス・キリストにある全てのクリスチャンが聖なる者と呼ばれています。聖なる者であることは、個人的な完璧さを達成することではありません。
神によって聖別されることであり、それによって神にとって特別で貴い存在となることです―あなたのイエス・キリストへの信仰によって。それだけです。
大事なポイントは、聖なる者であることは、私たちのアイデンティティを指すのであって、行いを指すのではないということです。
これは、エフェソの人々は、私たちと同じくイエス・キリストにあって神の民であるということを意味します。
聖なる者となるための他のいかなる方法も存在せず、彼らが教会にいることの他のいかなる理由もありません。あなたも同じです。
そしてパウロは、彼らがそのような信仰をもっているがゆえに彼らが「忠実」であると言いました。
ここで掴むべき鍵となるポイントは、クリスチャンが「キリストにある」とは、所在を意味するということです。これはエフェソの信徒への手紙の中で重要な概念です。

イエス・キリストにあって、ユダヤ人も異邦人も新しく創造され、今日の私たちも神の国に置かれているという意味です。

物理的な所在はエフェソ、東京またはその他の場所にあるかもしれませんが、私たちの信仰上の所在地、本当のアイデンティティはキリストの内にあります。

私たちの本当の未来の家は神の国です。それが私たちの本当の文化であり、私たちの生き方は神の国を反映
するものでなければなりません。

私たちは敬虔であるべきです。
ご存知の通り、私は米国の東海岸で育ちました。私はイタリア系の米国人です。

私がケンタッキー州の大学に行った一年目のことですが、留学生以外はクリスマス休暇の間はキャンパスから出て行かなければならないと言われました。私は驚きました。正直に言うと、ぎりぎりまでそのことを知らなかったのです。
私の出身地であるロード・アイランド州は 1400km ほど離れていました。カナダまで運転する距離よりもさらに 200km 離れているのです。しかし、それがルールでした。
そこで私は何人かの友人に声をかけ、その内の一人が家に泊めてくれることになり、彼の家族と共にクリスマスディナーを食べることになりました。
私は彼の家に行きましたが、少し戸惑ってしまいました。思わず「君はここに住んでいるの？」と聞きました。「そうだよ。」と彼は言いました。「僕たちはダチョウ牧場に住んでるんだ。」
そして私たちはそこのトレーラーハウスに泊まりました。それは私にとっては新しい経験でした。
やがてクリスマスがやってきました。私は夕食のとき、食事を眺めながらこう考えていました‥自分が今まで食べ慣れてきたものとは違う‥頭の中でこう思い巡らしていました‥イタリアパンはどこ？ラザニアは？アンティパスト（前菜）は？イタリアンドレッシングさえないじゃないか！
そして私は気付きました‥これは全く違う文化だと。この文化を受け入れ始めたとき、私は楽しさを覚え始めました。新しい食事、特にデザートを楽しみました。パンプディング、ピーカンパイ、特にキーライムパイを食べたのは初めてでした。

今でも、私はキーライムパイが好きです。もしメニューにあれば、大体それを注文します。もしコストコで見つけたら家族のために買います。
この経験なくしては知り得なかった自分の新たな面を私は分かち合いはじめました。私が子供たちに分かち合うことがなければ、彼らもそうはならなかったでしょう。
クリスチャンの皆さん、あなたの文化を世界と分かちあうべきです。
そのため、パウロは私たちの属する（ホームの）文化をこのように言い表しています：
2節　私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。
パウロは、神の贖いの計画の中の自身の置かれた場所を理解していました。
彼は自分自身を、恵みと平和のメッセージを世界にもたらす神聖な任務とともに遣わされた使徒として見ていました。
彼はローマ帝国中に芽生えていた異邦人の教会への大使でした。
彼の召命は、彼らが新たな現実の視点からどのように生きるべきか、神の民としてどのようにふるまうべきかを教えることでした。
これはエフェソの文化とは正反対の文化でした。
神の国があなたの新しい「正反対の文化」ですか？このように生きていますか？
これは、私たちが地上にあるものではなく、天にあるものに集中することを意味します。
今日、既にここで、あなたの人生に何かが起こっていることを意味するのです。
今日、私たちは、パウロが霊の祝福と呼んでいるものを持っているということです。
3節　私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、
3節は、新約聖書の中で最も重要な箇所の始まりの部分となっています。
エフェソの信徒への手紙1:3－14は、ギリシャ語原語では1つの長い文章となっています。
聖書の中で最も長い文章です！
聖書の中の最も長い文章が、私たちがキリストにある祝福についてだと知ることはなんという励ましでしょう！
たくさんの祝福がありますが、ここにそのいくつかを挙げます：

- 私たちは選ばれた
- 私たちはあらかじめ定められた
- 私たちは神の子供とされた
- 私たちは受け入れられた
- 私たちは贖われた
- 私たちは赦された
- 私たちは御心の神秘を知らされた
- 私たちは相続者とされた
- 私たちは聖霊で証印を押され、力、知恵、賜物を与えられた

この節の最初の部分を見逃さないでください。パウロはこの節を私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますようにと始めています。ほめたたえるとは、賛美と同義語です。主がキリストイエスにあって私たちに与えてくださったもののゆえに、私たちが主を礼拝するように差し向けます。
天国とは神がいる場所であり、全ての祝福の源です。
しかし地上では、これらの祝福はキリストの内にあります。
キリストが仲介者であり、道であり、神が私たちに与えてくださったもの全ての焦点です。
信仰によって、父なる神はキリストの内にあなたを見て、あなたをキリストの義で覆ってくださいました。
キリストにあって、あなたはこれらの恵みの祝福を受けます。これは既に成立した取引なのです。
忠実な皆さん、これらはあなたのものなのですよ！

あなたは、神の民として、東京バプテスト教会として聖別され、聖なる者とされ、天上において、これらの栄光にあふれる祝福の受け取り手なのです。
これはクリスチャンの信仰の中心的な真理であり、私たちの信仰です。
私たちがイエス・キリストを通して、神と親しい交わりの中に入ると、神から引き離されることはありません。
私たちがどのような試練に遭おうと、どのような失敗を犯そうとも、神の愛と私たちに置かれた神の御手は揺るぎないものです。イエス・キリストを通して与えられる神との交わりから引き離されることはありません。何があっても。
イエスはこのことについてヨハネによる福音書10:10でこう語っています:盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。
この「豊かな人生」とは未来に向けての約束であるにとどまらず、今にとっての現実です。
それは喜び、平和、目的で満ち溢れ、永遠へとつながる人生です。
今日もそして永遠に意味のあることです。
この視覚的な描写は神の尽きることのない祝福の特性を捉えるのに役立ちます。水がグラスを満たし、容器に溢れ出たように、神の恵みと祝福は私たちの人生を、溢れ出るほどに満たすのです。
なぜ神がこのようなことをあなたの内になさるのか分かりますか？
溢れるほどに与えてくださる意味とは何でしょうか？
これら全てを与えられているのは、私たちが他者の人生に触れるためです。
ただで受けたのだから、ただで与えなさい。
マタイによる福音書10:8
私がメッセージの冒頭で祈った祈りを思い出してください：私たちが神の恵みのスペクトル（連続体）を見て理解し、今度は私たちが他者を神の恵みの力にあって愛していくことができるように。
ここで質問します。あなたはそれを実践していますか？
あなたの人生に与えられた恵みに倣ってそれを他者に向けていますか？
これを実行するようにとあなたは選ばれたのですから‥あなたは他者を愛するようにと選ばれたのです。次の節を注意深く聞いてください。
4節　天地創造の前に、キリストにあって私たちをお選びになりました。私たちが愛の内に御前で聖なる、傷のない者となるためです。
聖書の正しい釈義または解釈は重要です。
　また、正しい箇所で区切る必要があります。間違った場所で区切ってしまうと、誤ったメッセージを受け取ってしまうからです。
聖書からのメッセージの全体を受け取ることができるように努力しなければなりません。
4 節を見ると、私たちをお選びになりましたとあります。これは神の主権のもとにある選びを意味し、神があらかじめ定められたものです。
「あらかじめ定められた」ことにはどのような目的はあるのでしょうか？
このような文脈で理解することが重要です。
それは私たちが新しい創造であることを意味します。
私たちの置かれている場所はすでにパウロによって確立されていました。
なぜそれが分かるかというと、パウロがこの節を英訳（NKJV）では”Just as”（～に従って）という言葉で始めています。その後に私たちの義認の理由と結果が書かれています。キリストを信じる聖なる者とされている理由はここにあります。
この節は、神がご自身の民を作り、彼らが神のご性質、神の文化、神の国を反映し、この地上において神の栄光をあらわすことについて書かれています。
パウロは、神が私たちを共に選んだのは、私たちが神の民となり、神の教会となり、神の花嫁となるため（ギリシャ語の「ヒナ」接続詞）であることを強調しています。
これは、個人的な救いの選びではなく、教会としての共同的な召しを指します。
分裂をもたらす神学的論争の代わりに、4 節は私たちを礼拝と賛美へと導き、互いを愛し合うことにつながるべきです！
あなたは神から遠く離れているように感じますか？
誰もがそこを通ったことがあると思います。けれども一つだけ言えるのは、神を礼拝していなければ神から遠く離れているように感じます。
あなたの目が天にあるものに注がれていないのです。
その理由は、新約聖書があなたの救いについて何と言っているか、思い起こしていないからかもしれません。
時々、人々は自分たちがキリストにあって与えられているものに根ざしていない聖書勉強にとらわれることがあります。
または、旧約聖書において、キリスト以外のものを聖句から探し出そうとしているのかもしれません。
または、全てを与えてくださる主ではなく、与えられていない賜物に注目してしまっているのかもしれません。
または霊的なものにではなく、人々の望む哲学や論理に注目してしまっているのかもしれません。
しかし何よりも、彼らは神が私たちに与えてくださった祝福、キリストにあって与えられた天上におけるあらゆる霊の祝福に目を注いでいないのです。
人々が注目するのは、持っているもの、またはより正確に言うと地上において持っていないものに対してです。
パウロや聖書の他の箇所が、貪欲に対して警告しているのはこのためです。あなたが持っていないものに対する欲です。
持っていないものを欲するとき、喜びが奪われ、礼拝が奪われます。
あなたがまず第一に神を礼拝しない限り、正しく生きることはできません。
礼拝するときに、聖なる傷のない者として生きることができます。
神が近くいるように感じます。
不浄さは常にあなたを神から遠ざけます。
それが性的不品行、貪欲、憤り、恵みと赦しの欠如であろうと。これらは常にあなたを神から離れさせます。
5－6 節　御心の良しとされるままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、前もってお定めになったのです。それは、神がその愛する御子によって与えてくださった恵みの栄光を、私たちがほめたたえるためです。
パウロは、彼ら（異邦人）が、ユダヤ人と共に、神の約束を受け取ることを保証するために、神の子とされることについて語っています。異邦人もユダヤ人も神の子たちだからです。
この文脈において、何が神の御心なのか考えてみましょう。
聖書が神の御心について何を教えているか聞いてください：
ヨハネによる福音書6:40　私の父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、私がその人を終わりの日に復活させることだからである。」
神の御心は、全ての人がイエスに信仰をおくことです。
また、ローマ人の信徒への手紙8:29によると、神は前もって知っておられた者たちを、御子のかたちに似たものにしようとあらかじめ定められました。とあります。
イエスにある信仰によって、私たちは主の御前に受け入れられ、永遠の命である神の国に入ることができます。
「あらかじめ定められた」者の目的地とは、新しい創造、新しい神の民、新しい神の都市、新しい天です。
教会が建物ではなく、人々の集まりであるように、神が愛した世は、青い大理石ではなく、人々です。
天国も同じです。
天国は神の民が神と共に生きる場所です。
神に喜びをもたらすものとは、神を愛し、互いに愛し合う人々で満たされた御国です。
私たちが神を礼拝すればするほど、神はより多くの栄光を受けます。
選ばれたことの意味は、あなたのためではなく、神のためです！
父なる神と主イエスが栄光を受けるためです。
それが選びの条件です。
全ては神の救いのご計画の中での神の選びと喜びについてです。
神の行動は、神が喜びを得るための動機に基づいています。これは神ご自身の御心と計画であり、私たちがそれに関して行うことではありません。
これが神の恵みです。パウロが言ったように、恵みがあなたがたにありますように。
<u>結論</u>
パウロが挨拶の中で言っていた平和については？

このように、私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ています。
ローマの信徒への手紙5:1
けれども私たちは人生において、平和がないように感じることがあります。
しかし、私たちが「あらかじめ定められた」者であるという事実が、私たちに与えられた祝福を焦点へと導く助けとなります。
今日の聖書箇所をパウロは、神がその愛する御子によって与えてくださった恵みで締めくくっています。言い換えるならば、「キリストにあって」ということです。
パウロは「キリストにあって」という表現を何度も繰り返しています。パウロは、あなたが常にこれを理解することはできないであろうことを知っています。だからパウロはあなたにこの知恵が与えられるようにと祈っているのです。またあなた自身も、この知恵が自分に与えられるようにと祈る必要があります。
ローマの信徒への手紙 8 章は、「あらかじめ定められた」ことについての有名な章ですが、「あらかじめ定められた」ことよりも彼らの苦しみや苦難について言及しています。
*ローマの信徒への手紙8:18*思うに、今この時の苦しみは、将来私たちに現されるはずの栄光と比べれば、取るに足りません。
もしあなたが「あらかじめ定められたこと」にしか注目していないとしたら、最も大きな祝福を見逃しています。
エフェソの信徒への手紙同様、パウロは、ローマの信徒への手紙8:1でも、私たちがキリストにあって与えられている希望から始めています。
その後、パウロは肉に従う歩みを捨てるときに、霊に属する新しい命を生きるようになると教えています。
そうするときに、もしあなたがキリストにあるならば、ローマの信への手紙8:11 にあるように、その霊が、あなたがたの内に宿っているのです。
霊があなたの内に宿るとき、人を奴隷とする霊ではなく、神の子とされる霊が与えられ、神を「アッバ、父」と呼び、キリストと共同の相続人となるのです。
しかし霊は、私たちを神の子とする以上のことをします。26 節にあるように、霊は弱い私たちを助けてくださいます。霊は神に対して私たちのために執り成してくださいます。
こうして、私たちを神のご計画に従って与えられる祝福へと迎えられます。これはキリストが肉において苦しみを受け死に、栄光をおけになったときに与えられた祝福です。
もしあなたが神学のことしか心配していないとしたら、これを知ることはありません。これを知ることなくして、パウロが、あなたが与えられるようにと祈っている知恵を受けることはありません。
28 節:神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が共に働いて益となるということを、私たちは知っています。
これが、キリストが持っていた平和であり、キリストの恵みによって私たちが持っている平和です。
私たち、神を愛する者のために万事が共に働いているのです。
放蕩息子が家に帰ってきたとき、彼が息子であるという事実よりも、息子が帰ってきたことに会話の焦点が当てられています。実際に、息子であるということは兄と弟との間に何の違いもありません。
違いをもたらしたのは、息子がどんな状況にあったとしても父親のもとに行ったことです。父親が、何があっても息子を受け入れることを望んでいたからです。

<u>招待</u>

もしあなたが神の子イエス・キリストに信仰をおき、キリストにあって永遠の命を得ることを信じるならば、あなたはキリストの恵みを受けます。あなたは天の父と天の家族を得ます。あなたは喜びと平和を得ます。これらは今日、あなたに差し出されています。
聖書にはこのように神のお考えが記されています。あなたがたのために立てた計画は、私がよく知っている――主の仰せ。それはあなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない。エレミヤ書29:11
イエスを信じてください。あなたに神の計画が与えられ、キリストと共に楽園に生きるようになります。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1325jp

★クラス 210
スモールグループについて学ぼう
4月13日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう?
4月19日(土)1:30 pm ~ 5:30 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した TBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5月11日(日)1:00 pm ~ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu